

2012年(平成24年)12月27日(木曜日)

大館の体験型観光

団塊向け情報誌に特集

元吉本の木村さん取材

大館市の体験型観光や名所旧跡が、主要都市中心に月13万部を発行する無料情報誌「5L(ファイブエル)」で特集されることになり、26日まで2日間にわたり取材が行われた。2月号(毎月1日発行)に掲載される。5Lは50代以上の読者を絞り、旅や食などの

話題を提供している。編集長は元吉本興業常務の木村政雄さん。大館市まるごと体験推進協議会(石垣一子会長)が観光資源をアピールしようと取材依頼したところ、各地の見どころコーナー「にっぽん日和」(10%)で紹介されることになった。北鹿地方が特集

されるのは初めて。木村さんらスタッフ5人が大館入りし、忠犬八公生家や鳥潟会館、曲げわっぱ体験工房、きりたんぼ作り体験の受け入れ農家、釈迦内小、白神フーズなどを訪問。観光振興にかける思いなどを関係者に取材した。「過疎化、高齢化が

深刻な中で頑張っている人がたくさんいて魅了。」「こうした意識の



石垣会長(左)にきりたんぼ作り体験取材する木村編集長(右) (大館市餌釣)

高さや歴史的な部分も伝えていきたい」と語った。協議会事務局の地域振興課は「大館ならではの情報発信で誘客につながることを期待したい」としている。